

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ
項目名 # 中		[B 除いた共通語]	(/)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	㊤ 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
1715.53	i ⁿ do (do が ndo?)	
1747.04	イト <イジミは老婆から聞いた>	
3619.08	ẽ~do eは狭いe	
3699.55	えト ^o え---イ・エの中間音 k ^o ...do ii edo	
3741.16	ẽ~do eは狭いe	
3755.32	ツギイト <ポンアイト>	イト
3757.09	ido 用水のために泉や湧水をためておくところ E mat(jibune)という。ニで洗ひもの などとする。	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔 〕は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ
項目名 # 戸		[B 除いた共通語]	(2)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	① 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
3783.08	ẽ~do ẽは非常に狭いe	
4598.33	jodoeke <希>	eke
4609.54	ẽđo > EDO jẽđo	
4619.29	đo (上品に言おうとする時)	ẽđo
4638.22	edo eは狭いe	
4644.10	edo eは狭いe	
4657.64	lndo (総称か)	
	hori do <新. 機械. # 戸と区別する為に できた新しい ことば>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ
項目名 # 戸		[B 除いた共通語]	(3)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	① 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
	(機械# 戸・horizdo がどんな構造か 分明でない。)	
4659.50	イト 「イト」と同じ。	
4667.33	インド <つるべのもの> } Eミインド <ポンプのあるもの> } } [ン] 音はかすか。	
4676.67	endo } EDO edo }	
4678.71	tsirube — 以蘇は# 戸は殆どつるべだったの で tsirube でもよい	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < () [] は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ
項目名 # 戸		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(4)

地点番号	① 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4694.95	edo tateedo < 731 へやホシノ ⁷³¹ による# 戸 > jokoedo < 山に作った横穴の# 戸 >	
4696.82	tsurube edo (つるべによってくみ出す# 戸。 ed ^o は池のことで、物を洗い、糞を 飼い、すじをひたしたりする。)	
4698.15	tsurube < # 戸そのものを云う、水が湧いて くる所一泉一を ido と云う > (更に調べる要あり)	
4730.45	tsurube edo (単に edo と云うと池も含まれる。)	
4731.42	[edo]	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は脱密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ
項目名 # 戸		[B 除いた共通語]	(5)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	㊦ 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4731.95	[èdō]	
4740.26	tsürurbè (単にエド(「# 戸」といえは、流れ川をせきとめて、深くした所)	
4741.92	tsürurbè èdō (つるべ) kukae èdō (ホン7°) (èdō—天然の泉)	
4760.64	[èdō]	
4760.98	èdō èは非常に狭い	
4761.57	tsürurc <普通>	
4762.77	tsürurc <古. つるべの# 戸>	edo
4770.62	ige (構造は普通なものらしい。)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ
項目名 # 戸		[B 除いた共通語]	(6)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	① 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4771.92	edo <ニニにはない>	
5462.57	ヨド <古>	イト"
5471.59	カワ <古>	
5472.31	カワ <古>	イト"
5537.34	edo <たたし新>	
5538.50	イ竹 <古>	イト"
5548.35	e ke 水ため tsutsumi 眞里をかってゐるとニニ do:u	
5548.60	ido <新 巻> (# 戸はもともとなかったよである。 谷川の水を使い、その水をおく戸かハミンジヤ)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > [] は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ
項目名 # 戸		[B 除いた共通語]	(7)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5549.55	edo } <新> (# 戸はもともとなかった所) eke }	
5557.42	ido (もともと # 戸はない)	
5557.48	edo <eke は田などの用水のため>	
5558.09	ido <昔から # 戸はない。谷の水を使用。今は水道。>	
5558.33	miga (もともと # 戸はない。谷川から引いた水を使用。)	
5564.79	ike — 目の茶にある時 ido — 目の茶にない時	
5565.12	1 竹 イケとも発音する	
5566.35	tubure (?) (この部落に # 戸なし。この管は誤りと思ふ)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ
項目名 # 戸		[B 除いた共通語]	(8)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	㊤ 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5566.95	<このようなものはない> (メジメ (飲用の小川) 近年は水道)	
5575.93	ike 泉水をもう。	
5579.42	juodo <古>	
5584.22	ike 優位	ido
5584.37	ido (家の中にあるもの) ike (家の外にあるもの)	
5595.20	ido <優位> ut(ikomi <この辺は打込#戸が多く、単にut(ikomi というニとも多い。>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ
項目名 #戸		[B 除いた共通語]	(9)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5599.41	イド <水屋の意味にも>	ホリイド
5621.43	idomizuu (水のこじでなく、#戸そのものの) 例. idmizuu horuu	
5623.27	ido <昔は撮#戸はなかった>	
5624.85	NR (#戸がない)	
5635.48	ツリイ <水をツリあげることから>	ツリイド
5636.74	ツリイド <古>	イド
5646.71	イド <古>	イド
5677.85	クミイド <水が極めて浅く、汲む装置も必要と しないう#戸。>	イド ハネツル?

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ
項目名 # 戸		[B 除いた共通語]	(10)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5685.37	tsü riido この地にない。山の清水をためた 所を ido と一般にいう。	
5686.31	tsuriido 〈 余りない。 竹のよてい山の水を引く jobiido が 多い。眼病のモモライの民間治療法 ×ザルを # 戸 に半分出すというのは、 主としてこの jobiido のこと。寺沢の 方へ行くと、川本たの水の使い場があり、 kawa ido という。〉 (寺沢とは調査地点から西南 1 km 山腰の集落)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > [] は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ
項目名 #戸		[B 除いた共通語]	(//)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5687.32	タグリ バケツの先に竹棒をつけたもので汲み出す#戸	イド
	ハネツルバ テコの原理を応用してあるもの	
	クルマイト 滑車を_usingしているもの	
	カイダシ ひしゃくで汲み出せるような#戸	
5687.86	エド (本人の個人差らしい)	
5690.96	boriido < 殆んどない。 > (水を引き入れて使う。)	
5695.47	ido (山から 引いて来た水をためておく所)	
5696.13	ツルバ < ツルバ#戸のこと >	イド

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ (12)
項目名 # 戸		[B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	

地点番号	㊦ 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5699.25	ido horinukiido --- 特に珍しくもない。	
5751.89	horiido <ニには一もない。> 水を樋で引いて来て、町ニとにマスヅクに ためた。それを edo と言った。たてに掘った ものは、ニの下市に一もない。	
5760.24	ido ニのはれずが e 穿り。	
5792.02	edo è は非常に狭い e	
5792.18	edo è は非常に狭い e <ニには4m位で薄く>	
5793.20	edo } (è は非常に狭い e 「深い」としても、質同様に對する管 idoba <多> } はこれらしい、(薄水の時の、つるなど) で須む)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ
項目名 # 戸		[B 除いた共通語]	(13)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	① 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
	tsukinukiido <澤々50Rほどもパイ7°(区佳2~3分)を さし込んで学校などで使うために ポンプで汲み上げるもの>	
6286.68	tsytsii (「筒井」であろう)	
6339.86	ツルイ <古>	イト"
6356.98	ツルイ <古>	イト"
6357.38	ツルイ <古>	
6369.32	ツルイ 音	イト"
6373.84	tsurui <古>	ido
6377.11	エツ <古>	イト"

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > () [] は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ
項目名 # 中		[B 除いた共通語]	(14)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	Ⓐ 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6383.77	ike <昔>	
6384.25	tsüryui <古>	ido
6389.22	ツルイ (古)	イト"
6389.59	カ7 古	イト"
6389.98	カ7 古	イト"
6393.26	ike <古>	
6394.09	"ツルイ <水をまけるので"ツルイと云う。>	
6394.78	イト <古>(?)	イト"
6395.46	ツルイ <古>	
6395.61	tsüryui [ido]	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ
項目名 # 戸		[B 除いた共通語]	(15)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	㊤ 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6397.62	tsumrui < 重なるべが下っているものだけ >	ido
6398.78	tsumrui < 古 >	ido
6409.35	ホリヌキ < ホン7° 使用 >	
	イト < つるべ 使用 >	
6409.72	イト < 深くて 手押しホン7° を使う >	
	ホリヌキ < 底が浅くて、竹の先に つるべ をつけて 汲みとる >	
6412.91	ldo < 浅いもの。3R くらい >	
	fstybe < 深いもの。6~10R くらい >	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は敢密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ
項目名 #戸		[B 除いた共通語]	(16)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	(A) 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6419.25	イド <つるべ>を用いるもの	
	ウチゴミ <ホンフ>を使うもの	
6423.75	ido { イドにも種類によって呼名がある。 ホリイド... 掘ったもの ツキイド... ハイフをっこんだホンフの#戸 }	
6424.20	tsūkiido { ホンホの分てハイフを土中に埋めたもの。 #戸として掘ってないもの。 }	ido horido
6428.76	イド <ホンフ>を使うのはクマゲと特に言うか、 やはりイドの中に入る	
6429.15	イ竹 <古>	イト

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (17)
項目名 # 戸			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6441.19	イト 掘ったままのわたなきもの ツルイ わた. 屋根のあるもの	
6444.89	カマ } < 杓で汲むことの出来る浅い#戸 > ビスクカマ }	イト
6448.61	ユツ <古>	
6452.98	ツリイ rui - ri:	イト
6453.64	イト <昔> ツリイ < ころべで汲む#戸 >	
6457.45	スイドオ <古>	イト ホリスキ ホリイト

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ
項目名 # 戸		[B 除いた共通語]	(18)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	① 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6460.10	tsürwi <古>	ido
6462.59	ツリイ ツリイ → ツリイ (rui → ri:)	
6472.05	tsürri: <古>	
6473.65	カワ <古>	イド
6476.17	イド <イズミは山の麓などの清らかな水のわき出ている所をいう。田畑田にあって灌漑用の水を汲み出す所は「イド」という。>	
6476.92	イド (イズミはどんな所かヒキと、自然に下から水が湧き出て、流れ出ている所という答えであった。)	
6477.02	イズミ <希・古>	イド イズミ

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ
項目名 # 戸		[B 除いた共通語]	(19)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	① 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6481.15	カワ 古	
6482.52	ka wa < 側面は石を積みあげたり、土焼側を ふせてある。 >	クノホー。〈田の中を流す。その 海沿いの井戸を tambok とい ふ。即ち井戸の字の由来。〉
6482.75	ka wa <古>	ido
6485.14	イズミ <古>	
6485.82	イズミ <古>	
6486.07	イズミサン (イズミを尊んで、二人は二つ言った。赤の 036のイボの時、イズキツツ(小豆粒)が "イズミサン"エホリコムトオルトユウ。(人に知 られないようにほりむす。)と言っていた。)	
6486.50	イズミ (カイツリは飲み水ではなく、田火田用の火田 中にあるやや大型の井戸である。)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	<u>A 普通注</u>	ページ
項目名 # 戸		[B 除いた共通語]	(20)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	㊤ 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6487.43	イズミ <古>	
6492.11	idosan <大切にすることをいふ。女性は Eいていこう言っている。>	
6494.21	イズミ <全島内に地下水を汲み出す「イサミ」 はない。雨水を屋根から引いて、#戸の 柵に掘ったイズミの中へためておき、年中 その水を使う。その水を天水と叫んでいる。 天水を汲み出す所をイズミと叫ぶ。>	
6495.82	izumi 石で四角に囲ったもの	ido

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ
項目名 # 戸		[B 除いた共通語]	(21)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	① 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6498.33	horinuki ido 正しくは horinukido の事なかと被調査者は horinuki と ido を区別している。ido は深くほて ヲルゲやホソゲでくみ上げるもの。horinuki は地面に水が湧き出てるもの。 当地は海岸流の土地にてすべて horinuki にて、いわゆる ido なし。	
6505.60	tutjiike <昔の人。土池なり。>	
6509.38	ツリイド <つるべで水をあげるイド>	イド
6509.43	ツルゲ <イドの総称>	イド

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ
項目名 # 戸		[B 除いた共通語]	(22)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	㊦ 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6511.85	utjikomi ハ17°Eをそのまま地面に打ちこんで 水を出すもの	ido
6512.67	ike 〈希〉	ido
6514.38	hor;ido 〈川の洗場をido、掘抜#戸を;kek いう。但し山本にはない。〉	
6515.70	ido (つるで、ポンプなどで汲み出すもの) ike (地面にかけた竹、或いは鉄管から自然 に地上に湧出するもの。この工事を 人をiketzukiと言う。)	
6522.79	1竹 1ド 一般的 余り用いない。	


- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕[]は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ
項目名 #戸		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(23)

地点番号	語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6522.93	イト ウチヌキイト、ホリイト等あり	
6530.23	イト <石垣で囲まれ、つるつるを用いる深い#戸>	
	ホリヌキ } <ホリツツを用いる#戸>	
	ホリヌキイト }	
6533.31	イト (屋内)	
	ノイト (屋外)	
6546.73	horinuki <地面から湧き上ってくるもの>	ido
6557.36	[ido]	
6582.48	tsurin 総称	
6583.45	ike <[ido]とは言わない。>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (24)
項目名 # 戸			

地点番号	① 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6583.93	iro <老人>	ido
6584.90	ido ニウイウちのほないので共通語として知っている。	
6603.52	ido <山の水を樋でためた水槽>	
6610.77	ido <山の水をためた所  >	
	tsuriido <つるべ>	
	pompuido <ポンプ>	
6619.76	ido 水道が普通	
6621.34	ido <主にポンプ式のもの>	tsuriido
6621.94	NR # 戸なし } { tojo-かいい tojoymtsji-水元 nomidojo-のみ水のかいい	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ
項目名 #戸		[B 除いた共通語]	(25)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	① 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6622.69	ido <湧き水をためた所も言う>	tsumriido
6631.05	horido tsukemidzu "山の水を引いて来たところ"	
6639.43	edo (eは狭く茶亭)	
6641.43	tsumrube <古> tsumrubeido <古>	
6643.72	ido tsukiido 鉄管を入れてその囲りを埋めた #戸 主にホップ#戸	
6657.54	ka: <雨水をためておく所は[ido]>	
6632.15	ido mizubune "山の水を引いてきた所"	
6697.49	ido <天水字用>	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ
項目名 # 戸		[B 除いた共通語]	(26)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	㊦ 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6698.20	ido <天水利用>	
6710.55	ido こか#戸	
6720.23	ido 737#戸	
7208.97	ka: (kawaとは発音せず、川のこは区別して ko:raという由)	
7218.09	tsurukawa cf. kawa 「ほみ ^レ に水のたまってゐる所」	
7218.58	kawa 請くひやくて ^レ 及むようなこは	ido
7229.50	tsurikawa <古>	ido
7237.67	tsurukawa (深#戸)	ido
		kawa

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	普通注記	ページ
項目名 #P		[B 除いた共通語]	(27)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	① 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7238.12	kawa 〈 湊 #P と tsunukawa. 川 E nagare kawa 又は nagareko 〉	
7238.82	kawa 〈 川 と 区別する時は kum:kawa } #P nomikawa nagare kawa ... 川 〉	
7239.24	kawa 7 ン 7 (かしく) で 汲 め る と 3. 3 = には 水 が 湧 き 出 て いる。	ido
7239.82	kawa (それほど深くほりぬいたのではなく、谷間 などに構えを作り 飲料水をたよっている所 ido といふとまたな 感じ がある という。)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ
項目名 # 中		[B 除いた共通語]	(28)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	① 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7239.90	tsurukawa <古>	
7246.45	kawa	但し「流れる川」をも kawa とハフ。 調査者は調査場所に行く途中、道を 尋ねて kawa (# 中) と kawa (川) の意 に解して、道を誤った。「流れる川」という 語もある。
7247.86	kawa	tsur kawa ... (掘り # 中) sifa kugawa ... (つかめる # 中) nagaregawa ... (川)

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ
項目名 # 戸		[B 除いた共通語]	(29)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	① 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7248.15	tsurukawa --- つるく#戸 kumikawa --- くみ#戸 arjajigawa --- 洗うだけのもの kawaは流れ川の意。	
7248.49	tsurikawa <古>	ido
7248.64	tsurikawa <つるべでくみあけるもの>	ido
7257.94	tsurubegawa <深いもの>	kawa
7258.82	igawa <上>	kawa
7258.89	kawa <古>	ido
7259.98	ido <洗濯などする所はkawa>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ
項目名 #戸		[B 除いた共通語]	(30)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	◎ 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7266.09	ido <kawa とはいわない。ひしゃくで汲みとれる 川の浅いものはkawaともいう。>	
7266.92	kawa 流れる川もkawa	ido
7268.87	tsurukawa <つるくを用いるもの>	
7269.51	ido 総称(汲み川を含む) tsuykawa 深い#戸	
7279.93	tsukkawa <古>	ido
7284.16	tsukkawa kawaは流れる川の意。	ido
7289.31	igawa 古. 99	ido
7301.67	ido (d=drの中間音)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ
項目名 # 戸		[B 除いた共通語]	(3/)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	① 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7303.17	ike (ido と今の者はいう。上品にいう時と ^ひ あう。) 《共通語という意味》	
7303.29	ido (イヅミとは云わぬし。聞かない)	
7305.13	ツルイ <古>	イト
7308.33	kawa <古。子供の頃に使った。>	tsurui
7309.37	kawa 川はka:ra	
7309.61	kawa <古?>	tsurui
7312.11	ido <自然の湧水(イヅミと云わぬ) ↓ ショウツ (清水)という。>	
7320.95	ido (d-r の中間音、r の要素少し)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ
項目名 井戸		[B 除いた共通語]	(32)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	○ 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7322.81	igawa 〈今あまり使わない〉	ido
7326.41	ido 〈昔〉	inoko
7330.91	ido 浅い所からの湧水は igawa	
7331.27	ido (d = d ~ r 中間音)	
7332.52	ido 〆ゴツキイト } 等作り方が異称あり。 ジコクボリイト	
7334.44	igo 〈泉も利用した浅いもの。もとは井戸一般を言った。〉	
7334.78	igo 〈浅い泉のもの〉	ido
7335.19	inoko 〈古〉	ido

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注	ページ
項目名 #戸		[B 除いた共通語]	(33)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	㊦ 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7335.34	inoko <古>	ido
7335.93	inoko <浅くてツルへを使わない#戸>	ido
7336.54	inoko [泉はdgemi] 同席の老年男子(須賀氏)	
7338.48	ido <現在は水道になっているが、以前のものが、あちこちに残っている。>	
7342.12	igawa ㊦	
7342.72	igawa <古>	ido
7343.14	ido <深い#>	
	igawa <浅いひしゃくで汲めるような湧水の#>	
7344.99	igo 池の小さいもの。水の湧出るものにも言う。#戸よりは浅い。#111。	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ
項目名 # 戸		[B 除いた共通語]	(34)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	① 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7345.47	inoko 〈つるべを用いない浅いもの〉	ido
7345.98	inoko 〈古〉#戸と変らない。深くも言う。	ido
7346.58	inoko 〈つるべを用いない浅いもの〉	ido
7352.14	ツルベイカワ イカワは浅いものをいう。	ツルベイト
7352.97	イカワ 〈掘り#戸でもいう〉	
7353.51	イカワ 〈や、古・希〉昔は掘り#戸でもいった。	イト
7354.23	ツルベ 〈釣瓶をいうのではなく、つるべでくむ#戸をいう。古くより今まで用いる。〉	イト
	イカワ 〈自然のわき水の#戸〉	
7355.48	inoko 〈ひしゃくでくめるほどの浅い出水〉	ido

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通印記	ページ
項目名 #戸		(B 除いた共通語)	(35)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7355. 81	inoko <イコは浅くて、ヒシクでくめるようなもの>	ido
7356. 06	ido <ヒシクでくむほどのイコ>	
7357. 64	inoko <家から離れた所において、浅くてひしゃくで汲む ようなもの>	ido
7362. 67	イカワ <古>	イト
7363. 59	イカワ (つき井戸(鉄管)で、地下水を地上に引き出させ、 田の用水にするものをいうこともある。冷たい水だが カナ気があって飲料には適しない。)	
7364. 34	イカワ <穴を掘って、つるで、ポンプでくむもの> イト <ぬき水をつき井戸にしたもの>	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ
項目名 #戸		[B 除いた共通語]	(36)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7365.25	ido 〈掘ったもの〉 inoko 〈希. 泉などを利用するもの〉	
7365.67	inoko 〈普. 深くもツルべを使ってモイコ。〉	
7366.14	ido 〈深い. ツルべで汲む。〉 inoko 〈浅い〉	
7366.87	inoko 〈古〉	id ² o (d#)?
7366.91	inoko 〈浅い. ひしゃくて汲めるようなもの〉	ido
7370.16	ido kawa とはいわなし	
7372.03	イカワ (掘り#戸でもどんな#戸でもすて)	
7372.27	イカワ (つるべでくみあげようになっていたが今ホーンでくみあげている。)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注	ページ
項目名 #		[B 除いた共通語]	(37)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	㊤ 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7372.96	<イガワ> <古. ほりぬき#戸のこじではある>	イト
7373.56	ツルベ <古> ツルベイト <古>	イト
7373.92	イガワ <イトとは言わぬ. この辺は掘り#戸ばかりで それをいう。>	
7373.99	イト (ほりぬきの#戸) イガワ (水がわいて流れている#戸) 又キ (山の中腹の斜面を横に穴をうがって水を ほりあてて自宅に流して用いているもの)	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ
項目名 # 戸		[B 除いた共通語]	(38)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	① 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7374.15	イガワ <古 高森は昔はイドはなく、町の外れのお宮お寺にツルバイド(イド)があったのみで、イドという語は希であった。町中はみな木通をひいて共同使用し、それをイガワと称した。現在は水道。イドもイガワも使わない。〉〔イド〕〔イガワ(ぬき水の#戸)はない。〕	
7374.75	イガワ <水面が高くて木でくむイド>	イド
7375.96	ido <英> この辺には#戸はない。この辺の家は山の斜面などに散在している。従って#戸は教育 報道機関などを通じて入った言葉。	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	<u>A 普通注記</u>	ページ
項目名 #戸		[B 除いた共通語]	(39)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	㊤ 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7377.72	igawa <古>	ido
7380.74	イカワ <希古>	イド
7381.38	カワ <つぎ井戸.掘り井戸.湧き水などすべて>	
7381.97	イカワ <種類を問わず.すべてに言う>	
7382.93	イカワ <掘り井戸>今でもイカワということが多い。	
7383.83	イド (イカワ⇒泉)	
7383.98	イカワ <水の湧き出してくるもの>	イド
7385.61	ido 二の辺は山国で井戸のないところである。	
7385.84	ido <家代には井戸は一つもない。山の湧き水を桶で家に引いて使う。最近は簡易水道も出た。>	

日本語語地図資料用紙 注記一覧

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注	ページ
項目名 #戸		[B 除いた共通語]	(40)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	㊦ 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7386.56	iqawa 〈古〉	ido
7390.26	ツリカワ (干籠り#戸) ツキイト (突き#戸)	
7390.70	イト 〈ツル1"でくむ深いもの〉 イカワ (シヤ7でくめる浅いもの)	
7390.75	イト 〈ツル1"と云わぬ。浅くてクシヤ7(柄子)で水さくむものはイカワという。〉	
7391.01	イト } 〈古〉 イカワ }	
7391.94	ツルカワ } 〈優〉 ツルカワ } カワ }	イト イカワ

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記のく > () [] は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ
項目名 #戸		[B 除いた共通語]	(4/)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7392.33	ホリイカワ } 外にツキイド(竹、金鉄管を土に差し込んだ#戸)が イカワ } ある。	
7392.45	イカワ (湧き水、ひしゃくで汲む) } イド (つるで、ポンプで汲む) } くひくるめて言う語は ない。	
7392.94	イド } (古) ツルベ }	
	イカワ <湧き水>	
7393.62	ユカワ } <湧き水、流水水をひいてきて自宅で用いるもの。高野部落 イカワ } ではこれが大部分) ツルベ } (金釘類でくむ#戸、少数) (以上のいすれかを用いるのが大部分であるが、これらを 総合した音をとめるならばイドより外にない。)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通語	ページ
項目名 # 戸		[B 除いた共通語]	(42)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	① 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7394.60	イル ^ハ (掘り#戸) イド (掘り#戸) エゴ ^オ (湧き水の#戸)	
7395.09	ido <深く掘ったもの> igawa <露天にあり. 浅い> inoko <露天にあり. 浅い。多> (この場合の答としては ido をとるべきであらう。)	
7395.63	jugawa <湧き水の場合>	ido
7400.11	kawa <kawa o horu. kawa o kaeru など"川)>	
7400.15	kawa (掘り人のことを kawahorisan) と呼ぶ由)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注	ページ
項目名 # 戸		[B 除いた共通語]	(43)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	① 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7402.47	ido (旧西条の大部分の地域では地表に水が噴き 上る。その井を掘る方式から井のことを utsi:nuki と いっている。)	
7403.21	ido 〈# 戸側は inokawa. それを設けるのは sukeru という。〉	
7403.86	ido (ido wa nai) 飲用水は谷から引いてくる。それを 受けて溜めてある所を <mizuba> といい。ido は 近くでは 芋野と肉洗りの部落に 2ヶ所ある Eita 町)	
7404.12	izumi (一般に深さは 20~30 尺)	
7404.56	tsurumi (tsurumi は tsurube で汲み深いののが本来だが ido というものにもいう。)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ
項目名 # 戸		[B 除いた共通語]	(44)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	◎ 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7405.21	ju z u mi この地方山岳地帯、谷水を引きこんで使用するものが多い。その場合は deju と言う。	
7406.53	i z u mi 深い穴を掘るところはない。水をとつためるにはコンクリートで水槽をこしらえる、はある。	
7412.26	↑ do あまり井戸はない	
7416.34	t s u r u r <昔>	
7417.22	N R この地方に ido がない。皆谷水を使う。	
7417.27	ido } 水の浅いものを言う。 i z u m i }	
	i z u t s u } 水の深いものを言う。 i g i }	
	i g i } 谷水が流れよって溢れるようになったもの	
7417.79	i z u t s u (古)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	<u>A 普通注</u>	ページ
項目名 # 戸		[B 除いた共通語]	(45)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	① 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7421.38	indo (話の合間に出た時は ido と発音)	
7431.08	ido (多くは nagaide de hiite kite 使う由。)	
7431.13	tsurui<古>	ido
7450.20	ido <hori ido, tsukinuki ido (鉄管を打ち交した物) などがあ。今は簡易水道に変わった。>	
7502.22	tsurube tsurube 老 総称。	ido
7504.27	ju:do [古]	ido
7659.31	judo touragou わき水をためたところ	
7659.40	judo f. わき水のたまったところ	
	ido ko:bu ne	
	ko:da	
	tamarimizu	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注	ページ
項目名 #戸		[B 除いた共通語]	(46)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	④ 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7659.51	ゆき水 simizu 流れ水 hoyu ido ike	
7659.53	NR <ない> ためた水は kawa	
8300.11	カワ (浅く水のたまっているものはゴキカワという) (<small>ワケ</small>) <ツイバ、ツルバは言わない>	
8300.25	ido (igawa-用水に用いる湧水) カワ <例. カワミス(#戸水) バ クレチ ケエ>	
8300.80	イカワ <新 希>	
8301.19	イカワ <希. 古>	イト
8301.76	イカワ <古> ユカワ <古. 山から引き水をためておくもの>	イト
8302.19	フネコ <古. 山から引き水をためておくもの Fにためておく> フネゴ <古>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ
項目名 # 戸		[B 除いた共通語]	(47)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	④ 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8302.55	イカワ ④ 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注] 〈天水か山からわき出るものたまるもの。それを各家から 汲んでくる。大部分の家がそうだ。〉	
8302.91	ツルベ 〈古: わき水のものはイカワという (用水に用いる自然の湧水。流水は; gawa. つるべ)	
8303.13	ido # 戸は tsurube)	
8303.47	イカワ } 〈イカワ ユゴ } (ユゴ) といっているのは水位が落ちて木でい くむことの出来る# 戸をいう〉	
8303.70	ツルベく新 掘# 戸のこと	
8303.84	ツルベく掘# 戸、つぎ# 戸をいう。水たまり、わき水のイカワは この辺にはない。〉	
8305.73	ido 〈新 この辺には# 戸は小学校に一つあるだけ。人家は 木樋で山の湧水を引く。〉	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ
項目名 #戸		[B 除いた共通語]	(48)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	㊦ 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8310.26	tsutin <古>	ido
8310.87	igawa <ひしゃくで汲める程度の浅い#戸>	ido
8311.59	tsuibeido <浅いひしゃくで汲む#戸はjugawaという。>	
8311.63	tsuren 杓で汲む浅いとはigawaという。	
8314.52	tsurin <掘ったもの> jugawa <湧き出たもの>	
8316.20	igawa <古>	ido
8322.43	igawa <ひしゃくでくむ浅い#戸をいう。>	tsuibe
8324.83	tsuin (ツリ)のりの音化)	
8325.56	ido <多>	igawa

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ
項目名 # 戸		[B 除いた共通語]	(49)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	㊦ 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8331.17	igawa <徒来から>	
8332.07	tsuibe <古>	ido
8332.59	iga a <浅い深いにかゝれらなは。>	
8333.92	tsurin <古>	ido
8334.63	tsurin <古>	ido
8335.11	ido <深く撮らないで天然に水がわくのは ino koとぅ>	
8335.48	idoŋkawa <古> [今でも使う]	ido
8341.46	igawa <山菜は浅い # 戸を言た>	ido
8341.94	tsuibe [イワとぅえは"浅いいどをいウ]	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ
項目名 # 戸		[B 除いた共通語]	(50)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	㊦ 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8342.51	iga: <郡部では tsurin というのを聞<>	
8344.71	tsuibe <古>	ido
8345.18	judo <# 戸は3ヶ所しかなく、湧水を多く使っている。>	
8345.24	ido 深い inoko 浅い。(シクで汲める程度のもの)	
8351.65	iga: <古>	ido
8352.29	kawa <終原には ^{カワ} 川はないからまぎわしい<ニとは	
8352.40	igawa <古> ^{ない} >	ido
8355.23	tsurin <多>	ido
8361.31	kawa <古>	ido;

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通語	ページ
項目名 # 戸		[B 除いた共通語]	(51)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	① 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8362.85	igawa <新>	kawa
8363.51	jugawa <古>	ido
8363.64	ido <ポンプで汲むもの>	
	turi <つるべで汲むもの>	
8372.47	tsuibe <浅い#戸>	ido
8373.43	tsuibe (⊗) 田代(調査地奥の北4里)出身の校長はikeだ と言うが、このあたりに#戸はなく被調査者クマ ホソイ氏はtsuibeというのかそれかと思っていたと 答える。(女官長郡霧島町では#戸をtsuibeと 答えている)	
8393.69	kawa <希 湧水も含む>	igawa
9312.42	tsubeykawa <希>	tsuibe

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ
項目名 #戸		[B 除いた共通語]	(52)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	④ 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
0228.96	ho (カワの訛り)	
0237.84	jidi (jiduにあらず)	
0275.97	tʃiŋqjo } (発音のちがひ) tsʃŋqjo <古>	
1241.49	?numigai: [ha:]	
1251.29	supʒa <振り#戸のこと>	
2067.52	<ka:i>	
2151.67	ka: <深くてつるいで水をくむ#戸はtsʃi:qai:と。>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ
項目名 #戸		(B 除いた共通語)	(/)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5579.42	ido <今>	judo<古>
6348.71	イト <新>	ツルイ
6357.38	イト <新>	ツルイ<古>
6383.77	ido <今>	ike <昔>
6395.46	イト <新>	ツルイ <古>
6413.10	ido <新>	jgawa
6424.92	イト <新>	エト
6442.35	イト (新)	ツルイ
6448.61	イト <昔>	エツ <古>
6451.79	イト (新)	ツルイ

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ
項目名 # 戸		(B 除いた共通語)	(2)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6461.27	イド (新)	ツレイ
6472.05	ido <今>	tsūri: <古>
6785.14	イド <新>	イズミ <古>
6485.82	イド <新>	イズミ <古>
6486.50	イド 新	イズミ(カイワリは 食沢み水では なく、田畑用の畑中にある やや大型の井戸である。)
6486.93	イド <新>	イズミ
6487.43	イド <新>	イズミ <古>
6495.18	ido <新>	idzumi

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ
項目名 #戸		B 除いた共通語	(3)
		C 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6498.61	ido <雅>	izumi
6641.43	ido <兼介>	tsurube <古> tsurube ido <古>
7239.90	ido <兼介>	kawa tsurukawa <古>
7269.96	ido <兼介>	tsurikawa
7325.84	ido <共>	inoko
7334.44	ido <兼介>	igo <泉を利用した浅いもの もとは#戸一般を言った。>
7336.28	ido <兼介>	inoko

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ
項目名 井戸		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	(4)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7336.71	ido <新>	inoko
7342.12	ido (新)	igawa (古)
7345.43	ido <新>	inoko
7356.55	ido <新>	inoko
7362.42	イト <新>	イカワ
7363.59	イト <新>	イカワ(イカワはつき井戸(鉄管)で、 地下水を地上に引き出させ、 田の用水にするものさいうニコも ある。冷たい水だが、カナタ があって、飲料には適しない)

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

頁 間 番 号 147	地 図 番 号 197	A 普通注記	ページ
項 目 名 #戸		B 除いた共通語	(5)
		[C 除いた特殊語]	

地 点 番 号	A 語形とその注記 (B)・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7363.85	イド<上.希>	イカワ
7365.67	ido<新>	inoko<昔.深くをツルハを使って もイノコ。>
7372.27	イド<希>	イカワ<つるハでくみあげるように なっていたが今はポンプで くみあげている。>
7374.15	イド<? 希>	イカワ<古 若森は昔はイドはなく 町の外れのお宮.お寺に.ツル ハイド(イド)があったのみで. イドは希であった.町中は みな桶を引いて共同使用. それとイカワと本不同. 現在は水道.イドもイカワも 使わなくなった(イカワ(わす水の #戸)はない。]>

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 199	A 普通注記	ページ
項目名 # 戸		[B 除いた共通語]	(6)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7381.38	ド〈新 や・希〉	カワ〈つ玉#戸・掘#戸・湧水など おがて〉
7382.58	ド〈新・共〉	イカワ
7382.93	ド〈新〉	イカワ〈掘り#戸〉今でもイカワとハツエと がし。
7400.11	ido 新	kawa <kawa o horyu, kawa o kayuu などと(いう。)>
7417.79	ido (今)	izumetsu (古)
8239.31	ido 新	tsuigawa (古)
8300.80	ド〈新希〉	kawa 〈希〉 カワ〈(河)・カワミズ(井戸水)・バクンテ(分玉) ドカワ〈新・希〉

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ
項目名 # 戸		B 除いた共通語	(7)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8302.19	イド <新. 茨>	エカワ <古. 山から引き水をしてためておくもの> フネゴ <古. 山から引き水をして木を穿らしたフネゴというものの中にためておく> フネゴ <古>
8302.55	(イド) <希. 昭和時代になってから>	イカワ <天水か山から湧き出るものをたまるもの。それを各家からくみくる。自家もろくにあり。大きな家がそつた。>
8302.91	イド <新>	ツルベ <古> <くまき水のものはイカワといふ>
8303.70	イド <新>	エカワ イカワ ツルベ <新. 掘井戸のニヒ>
8303.84	イド <新>	ツルベ <掘井戸. フネ井戸をいう。水を引くまき水のイカワはこの辺にならぬ。>
8306.04	ido <新>	igawa
8311.41	ido <新>	tsurin

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 147	地図番号 197	A 普通注記	ページ (8)
項目名 #戸		B 除いた非通語 [C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8331.17	ido <新>	igawa <徒来から>
8332.84	ido <兼>	tsuibe
8354.29	ido <兼>	tsurin

